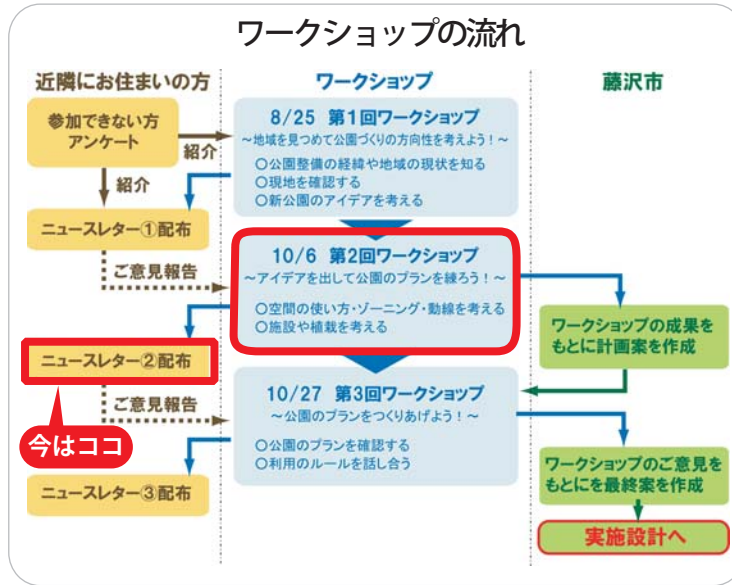


第2回ワークショップを開催しました

現在の高倉公園は、藤沢湘南台病院の北側に位置しており、土地をお借りして公園として利用していましたが、H26年3月末をもって返還することになりました。そこで、現在の公園から東側約170m離れた場所に、新しく公園を整備することになりました。公園の完成はH26年の夏頃を予定しています。

新しい高倉公園が地域の方々に親しまれる公園になるように、「ワークショップ」を開催しています。10/6に15名の方にお集まり頂き、第2回ワークショップを行いました。今回は「アイデアを出して公園のプランを練ろう！」をテーマに、新しい高倉公園の空間の使い方や配置、動線について図面を使って考えました。この成果をもとに、藤沢市が計画案を作成し、第3回ワークショップで説明します。



第2回ワークショップの概要
 テーマ：アイデアを出して公園のプランを練ろう！
 開催日：平成25年10月6日（日）13:30～16:30
 会場：長後市民センター
 参加者：大人14名、子ども1名

第2回ワークショップの内容をお伝えします

1 藤沢市からの情報提供

はじめに藤沢市から公園利用の禁止事項や公園愛護会の活動について説明がありました。また、前回のニュースレターを見て、市に寄せられたご要望などの説明がありました。



オープニングの様子

2 前回のふりかえり

公園プランの検討を行う前に、壁に貼りだした第1回ワークショップの成果を見ながら、話し合ったことをふりかえりました。今回から参加された方も前回の内容を共有しました。



前回ふりかえりの様子

3 班に分かれて新しい上高倉公園プランを検討しました

3つの班に分かれて、約1時間下記の項目について意見交換しながら、図面上に絵を描いていきました。同時に、遊びのルールや管理のルールについても意見を交わしました。

話し合った主な項目

- ・遊び、休憩、運動などのゾーン分けは？
- ・入口はどこがいいかな？
- ・園路はどこを通す？
- ・どんな遊具があると楽しいかな？
- ・休憩移設はどこにどんなものを配置する？
- ・どんな植栽がいいかな？
- ・この公園の特徴は？ などなど



各班における公園プラン検討の様子

4 3つの班の公園プランの発表しました

各班で話し合った新しい高倉公園プランを発表し、参加者全員で共有しました。

3つの班ともそれぞれよく考えられたいいところがたくさんつまった案でした。詳しくは裏面でご紹介します。



公園プラン発表の様子

5 全員で「いいとこどり案」をつくりました

最後に、参加者全員で3つの班の公園プランを見比べながら、共通した考えの部分を確認し、意見が分かれた部分については意見交換しながら、良いポイントを合わせて「いいとこどり案」をまとめました。

新しい高倉公園の空間の骨格が決まりました！

第3回ワークショップでは、この方向性をもとに計画案を作成し、より具体的な内容について意見交換を行います。



いいとこどり案づくりの様子

上高倉公園ワークショップ及びニュースレターの内容について、ご意見・ご要望などありましたら、下記までご連絡下さい。

藤沢市 都市整備部 公園みどり課 上高倉公園ワークショップ係
 TEL 0466-25-1111 (内線4318) FAX 0466-50-8421
 e-mail kouen@city.fujisawa.kanagawa.jp

いいとこどり案

新しい上高倉公園の骨格

- ・大きく3つのゾーニングを行います
- ・子どもが安全に遊べる空間を作ります
- ・公園の特徴となるアピールポイントを取り入れます
- ・公園を周遊する園路を設けます
- ・近隣住宅への配慮を行います

公園西側の植栽

隣接する住宅に対してのプライバシーや日当りに配慮するために幅のある植栽地を設けます
境界沿いのつくりは個別にお住まいの方にご意見を聞いて対応します

休憩施設

あずまや、パーゴラを多目的広場と遊びの空間の両方から利用できる位置に設置します

多目的広場

住宅地から少し離れた位置に配置します
周辺に空間がとれる横長の配置とします

園路

公園を周遊できる園路を設けます

休憩施設

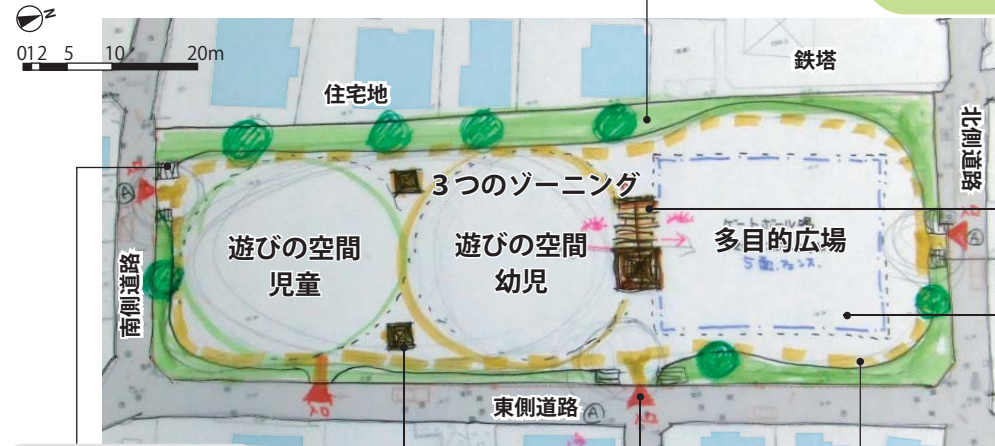
日陰の下で休めるベンチなどを設けます

入口

南北に1ヶ所ずつ、東側に2ヶ所設けます

駐輪場

公園内に自転車が乗り入れないように入口のそばに駐輪場を設けます



ゲートボール班 ... 多目的広場を中心に利用面と安全面を考えたプラン

遊具

木陰のあるところに砂場を配置
両側の芝生広場や多目的広場から見守れる中央に幼児の遊び場(砂場)を配置

遊具

ぶどう公園と呼ばれるように地域の特産であるぶどうのカタチをした遊具を設置

外周植栽

植栽や目隠しフェンスで1・2階への視線を遮るため植栽地を設ける

休憩施設

ゲートボール利用者が日陰で休憩できるように屋根とテーブル、ベンチ一体型の休憩施設を2ヶ所配置

多目的広場

入口は2ヶ所とし、防災面・安全面から門扉を付けない
ボールの飛び出しを防ぐために4面をフェンスで囲う
上面のネットは景観との兼ね合いがあるため要検討

入口

災害時などに公園に入りやすいように4ヶ所設置

園路

公園を周回できる園路を設ける
敷地境界から少し内側にまっすぐ設ける

植栽

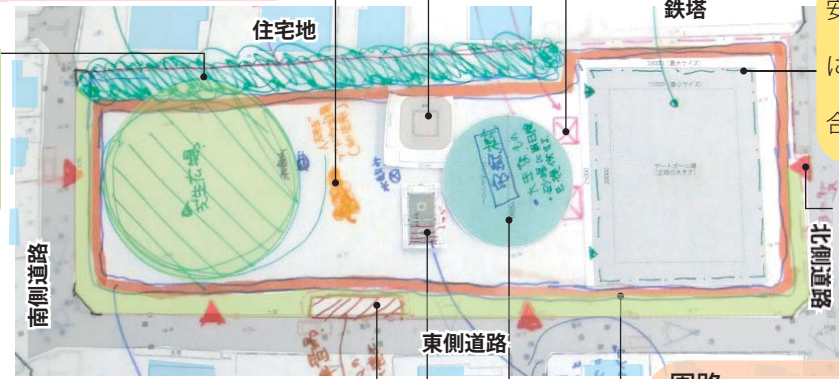
大きなシンボルツリーを公園の中央に配置
落葉が出にくい常緑樹とする
中木、低木、地被類で彩る

駐輪場

公園内に自転車の乗り入れを禁止する

休憩施設

藤棚とあずまやの一体型



Team 富士山 ... 藤沢の記憶を取り入れて富士山をシンボルとしたプラン

草地広場

色々な遊び要素を入れた複合遊具のある広々とした広場(草地)を設ける

富士山

子ども達が登って遊べる小高い山(富士山)を公園のシンボルとして設置する
この山はケガの防止や土の流出がおきないようにゴムチップ舗装する

入口

周辺街路網を踏まえて南・北・東の3ヶ所を入口とする

街の記憶

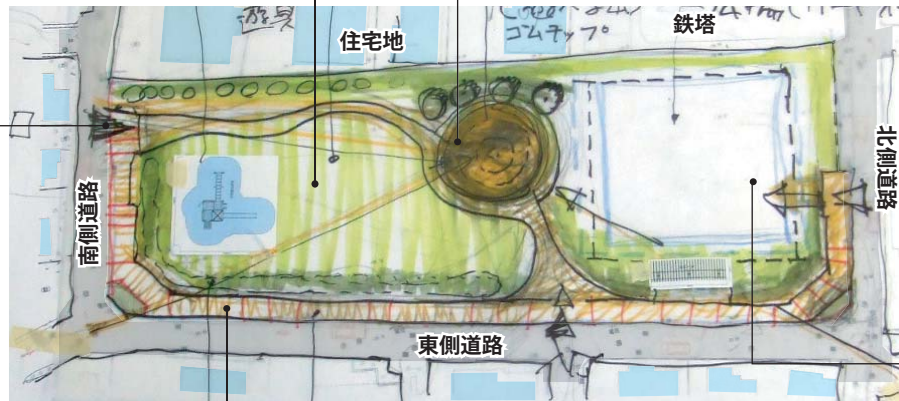
藤沢の農地でかつてみられた水路を想起させる空堀を園路に沿って設け、降雨後に少し水がたまる空間とし、あわせて広場と園路(道路沿い)への子どもの飛び出しを防ぐ

広場

ゲートボールや子どもたちのボール遊びができるフェンスで囲った広場
住宅地から少し離れた場所に設ける

外周園路

敷地南北東に接する道路が狭いので、道路沿いに園路と兼用できる歩行空間(幅1.8m以上)をコの字型に設ける
3ヶ所のどの入口から入っても一周できる園路線形にする



みんなで使おう班 ... 小さな子どもからお年寄りまで幅広く利用できるプラン

自然と親しみゆっくりできる空間

園路で分けられた南西側と北東側に芝生や低木のある空間の中でゆっくりできる場所

遊びの空間

幼児から児童まで幅広い年齢の子ども達が遊べるような遊具の設置
安全に遊べるよう道路から遠い位置に配置

駐輪場

公園内を自転車が行き交わないように入口のそばに10台程度の駐輪場を設置

園路

南北の入口をつなぐように園路を設ける

多目的広場

ゲートボールや子どもたちがちょっとしたボール遊びができる広場

休憩施設

ベンチ、テーブル付きベンチやあずまやなど休憩できる施設を公園全体に配置
その周辺には日陰ができるような植栽

植栽

シンボルツリーを中央に配置
外周は、周辺住宅に日陰ができないような高さの低い花の咲く樹木とする

フェンス

道路に接した3面に、子どもが飛び出さないようにフェンスを設置する
景観面からあまり高さのない低めのフェンスを用いる

入口

入口を東・南・北の3ヶ所に設ける
自転車が乗り入れないように車止めを設置する

